



2016.11
第170号

とうまの議会

発行：当麻町議会 北海道上川郡当麻町3条東2丁目11番1号 TEL (0166) 84-2111



田んぼの学校 収穫祭（10月4日）

今号の目次

町政を問う（一般質問）..... P 2

議案の審議 P 5

地方の声を国政の場へ（意見書）..... P 6

平成27年度決算審査 P 7

第4回臨時会 P10

議案の採決結果 P10

議案審議の結果 P11

議会のうごき P12



平成28年 第3回定例会

平成28年第3回定例町議会は、9月12日に招集され、会期5日間で開かれました。

初日は、町長の行政報告、4議員からの一般質問につづき、専決処分の承認2件、固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、功労表彰、条例の一部改正、財産の取得、補正予算など計10件が審議されました。

また、平成27年度当麻町一般会計ほか5特別会計及び水道事業会計決算については、決算審査特別委員会を設置し付託しました。

最終日（16日）は、決算審査特別委員会の審査結果報告、一般会計補正予算、意見書などを審議しました。

なお、今号では第4回臨時会（8月2日開催）についてもお知らせします。

（議案審議結果は11ページをご覧ください）

●
ここが聞きたい

町政を問う

第3回定例会において、福山、加藤、片原、澤田の4議員が一般質問を行い、町長の考えを尋ねました。

（要旨にて掲載）

A & Q



Q 今後の人材育成は

A 総合的な能力開発、 育成に取り組む

えを伺います。



福山 議員

問

地方自治体には地域の意思と責任に基づく自主・自立のまちづくりが求められており、当麻町の未来を担う職員はこれからの変革の時代に対応し、行政運営をする能力が必要となってくると思います。

また、高度化・複雑化する行政の各領域においては専門知識が必要となる場合も多く、能力や適性を生かした人事配置等の人材活用も重要となり、知識、能力、経験を最大限に生かした、プロフェッショナルな職員の育成に向けた人材開発との連携を強化していくことが必要と考えますが、町長の考

答

町長

本町が現在、実施しております人材育成方策の一つに職員研修があげられます。

職員研修は、職場内研修・職場外研修・自己啓発研修の三つに分けられ、今後も継続してまいりますと考えています。

人事管理において、適材適所の人事配置を行うことも大変重要な事であり、本年4月から導入した人事評価制度の実施にあたり、異動の希望がある職員については、意思表示をすることができます。



菊川 町長

また、再任用職員の活用を図るほか、専門知識や資格を必要とする専門職については、社会人実務経験者を採用することにより人材を確保し、女性職員の職域の拡大や管理職の登用などについても推進しているところであります。

人材育成は、職員研修・人事管理を両輪として取り進め、職員一人ひとりの能力を最大限に発揮させることを目標として、長期的かつ総合的な観点から職員の能力開発、能力育成に取り組んでまいります。

Q 地域おこし協力隊員について

A 規則を制定し募集

問

地域おこし協力隊については、本年3月開催の第1回定例会で「特に林業・観光・社会福祉関係など、隊員の受け入れについて企業等と協議を継続しており、体制が整い次第募集を行う」と答弁されておりますが、現在どのような状況になっているの

問

地方創生に向けた様々な取り組みは、高度な専門性を有する人材が確保され、活躍することで実現するものであり、これを担う人材が適正に評価され、キャリアアップしていくことが不可欠と考えますが、見解を伺いたい。

答

町長

専門分野の職員については、現在もそれぞれ専門職が必要な部署では、専門の職員を採用しておりますし、職員一人ひとりの力が最大限に発揮できるように努めてまいります。



加藤 議員

か伺います。

答 町長
地域おこし協力隊については、隊員の就業受入れ態勢の準備

を進めており、予定としまして、本年12月に規則を制定した後、隊員の募集を実施してまいります。

Q 今後の大雨対策は

A 早期に対策を実施



片原 議員

問 近年、大雨による被害が各地で続いています。当町も農地への土砂の流入、道路決壊、側溝埋没、路面洗掘などの被害が発生しております。

今まで処理できていたものを超える大雨が今後も発生する事が考えられますので、河川管理体制の見直しが必要ではないかと思われ

ます。
町道排水の確保、土管等の太さの検討、河川に堆積している土砂の除去、河川内の流木処理などの維持・管理など、大雨時の水の処理が大きな課題となっている状況ですが、今後の大雨対策について伺います。

答 町長
町が管理する河川の河床整理につきましては、計画性を持ち、予算の範囲内で進めているところでありますが、特に、清水川については、今回の大雨の影響により、河川に堆積物が多くなったことから、予算を編成した後、河床整理を進めてまいります。

国及び北海道が管理する河川につきましては、今回の堤防の決壊の状況等を見ますと、河川内の立木が大きく影響を与えていることから、その伐採を含めて早期に対策を実施するよう強く要請を行ってまいります。

Q 農産物の販路拡大は

A 農協とともに組織の設立を進める



澤田 議員

問 当麻町の基幹産業である農業は、TPP発動がさやかれている昨今、いろいろな問題がある中、特に米の販売においては、人口減やそれに伴う消費量の減少などにより、決して今までの高い評価に安心してはられないと思えます。

8月に町からの補助金3億9,000万円の支援で建設される農協精米施設の起工式が行われましたが、これは、当麻米販売戦略の一環としての町の支援であり、町・農協・生産者がより一層連携し、全道・全国に当麻米の販路拡大を図る機会と考えます。

今後も当麻の農業がさらに向上するよう、消費者や農業経験者を含めた有識者会議的な組織を作り、農産物の販路拡大に生かすことはできないか、町長の考えを伺います。

答 町長
本年3月、当麻農業未来創造チームより、農産物の販売において「町民や様々な団体と話し合う機会を設けるため、町内組織及び他産業との連携組織を設立し、「オールとらま」として地域産業のさらなる発展を目指すべき」とのご提案をいただいたところであります。

現在、関係機関の実務担当者との協議を行っており、農産物の販路拡大についても、農協とともに組織の設立を進めてまいります。



同意

固定資産評価審査委員会委員の選任

平成28年11月13日で任期満了となります。濱田博俊氏の後任として平田實氏（4条西3丁目）を委員に選任することに同意しました。



平田 實 氏

教育委員会委員の任命

平成28年9月30日で任期満了となります。森脇幸司氏（5条西4丁目）を引き続き委員に選任することに同意しました。



森脇 幸司 氏

功 勞 表 彰

当麻町表彰条例に基づき功勞表彰は、本町教育の振興発展にご尽力いただき、貢献されたことにより、鎌田正彦氏（5条東3丁目）を表彰することに同意しました。



専決処分

平成28年度当麻町一般会計補正予算（第2号）

現行の予算に680万1千円を追加し、予算の総額を60億4,222万5千円としました。

◎補正の主な内容

7月31日からの大雨により、町道や普通河川、林道等で被害を受けたため、修繕費用と測量設計委託料を増額補正しました。

平成28年度当麻町一般会計補正予算（第3号）

現行の予算に431万6千円を追加し、予算の総額を60億4,654万1千円としました。

◎補正の主な内容

台風により、8月20日から大雨となり、町道や林道等で被害を受けたため、修繕費用、測量設計委託料などを増額補正しました。

質 疑

問 西川議員
現在どの程度まで復旧されているのか。

答 建設水道課長
石渡道路が洗掘され通行止めでありましたが、仮復旧が終わり交通を解放しました。



条 例

当麻町税条例の一部を改正する条例について

この条例は、所得税法等の一部改正に伴い、政令で指定される外国で受けた特例適用利子及び配当について、他の所得と区分して課税されるよう改正しました。

当麻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

この条例は、所得税法等の一部改正に伴い、町税では、政令で指定される外国で受けた特例適用利子及び配当について、分離課税されることとなりましたが、国民健康保険税では、算定等に用いる総所得金額に含めるため、規定を整備しました。



取 得

財産の取得について

教員住宅の買取事業で、9月6日に教員住宅とらまグループ（西森建設㈱、石川建設㈱、㈱平野組、㈱アイエイ研究所）と7,153万4,480円で仮協定書を締結し、議会の議決後、本協定を締結します。

取得する教員住宅は、木造平屋建て1棟2戸と1棟1戸の計2棟3戸で、事業期間は平成29年2月3日までです。



補正予算

平成28年度当麻町一般会計補正予算（第4号）

現行の予算に3,776万6千円を追加し、予算の総額を60億8,430万7千円としました。

◎補正の主な内容

ヘルシーシャトーオーバーフロータンク取り替え工事費用、清水川の土砂掘削委託料、東公民分館の屋根掛け替え工事費用などを増額補正しました。

平成28年度当麻町一般会計補正予算(第5号)

現行の予算に1,279万8千円を追加し、予算の総額を60億9,710万5千円としました。

◎補正の主な内容

8月20日からの大雨による被害で、ボン牛朱別川の修繕費用、町有林林道7路線の復旧工事費用などを増額補正しました。

平成28年度当麻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)

現行の予算に138万円を追加し、予算の総額を10億5,924万5千円としました。

◎補正の主な内容

国民健康保険の運営が北海道一元化となるため、制度改正に伴うシステム改修委託料等を増額しました。



報告

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育委員会から平成27年度の事務の管理

及び執行状況の点検・評価に関する報告書が提出されました。

平成27年度当麻町決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により報告されました。

健全化判断比率の実質赤字比率は、一般会計の平成27年度実質収支額が黒字のためありません。

連結実質赤字比率は、一般会計と特別会計の実質収支額、水道事業会計と公共下水道事業特別会計の資金不足・剰余額の合計で、黒字となりありません。

実質公債費比率は、平成25年度から27年度までの3カ年平均4.4%です。

資金不足比率は、水道事業会計、公共下水道事業特別会計ともに資金剰余額があり、資金不足比率はなく、それぞれの指標は、健全であることを示しています。

意見書

地方の声を国政の場へ

第3回定例会で意見書を可決し、内閣総理大臣ほか各関係省庁などに提出しました。なお、内容は次のとおりです。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、「植えて育てて、伐って使い、また植える」といった森林資源の循環利用を進め、木材を積極的に利用して林業・木材産業の成長産業化を図ることは、山村地域の雇用拡大等による地方創生にも大きく貢献するものである。

道では、森林機能の維持増進や森林資源の循環利用に向け、交付金等を活用し、植林・間伐、山地災害の防止、木造公共施設の整備など、さまざまな取り組みを進めており、今後も地域の特性に応じた森林の整備・保全を進めるとともに、林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 「森林環境税(仮称)」等を早期に創設し、森林の整備や木質バイオマスの有効利用など、森林吸収源対策を推進すること。
- 2 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

平成27年度 決算審査から

総額 80億1,139万円

平成27年度当麻町一般会計ほか5特別会計及び水道事業会計の決算は、議長と監査委員を除く全員で構成の『決算審査特別委員会（前田委員長・片原副委員長）』を設置し審議しました。

審査の結果、各会計決算については、認定すべきものと決定しました。



前田委員長

各会計 歳入・歳出 決算額

歳 入		歳 出	
23億6,530万3,000円	地方交付税	総務費	16億7,273万1,183円
9億4,648万8,000円	町 債	民生費	10億7,082万7,787円
6億7,328万2,560円	国庫支出金	公債費	4億8,465万2,173円
5億3,416万4,670円	町 税	教育費	4億4,514万2,783円
3億5,538万8,915円	道支出金	土木費	3億8,367万4,319円
1億3,248万5,000円	地方消費税交付金	雑支出金	3億1,141万9,748円
6億5,426万4,006円	その他	その他	11億4,449万9,300円
56億6,137万6,151円	合 計	合 計	55億1,294万7,293円

国保特別会計

11億4,519万1,178円	事業勘定	11億2,852万2,596円
9,933万5,088円	医科診療施設勘定	9,892万6,854円
1億625万1,595円	後期高齢者医療特別会計	1億623万295円
9億2,746万7,571円	介護保険特別会計	9億452万8,681円
1億4,046万8,658円	公共下水道事業特別会計	1億4,039万4,417円

事業会計

総 収 益	総 費 用
1億2,521万8,591円	水道会計 1億1,984万6,100円

質 疑

一般会計歳出

総務費

問 福山委員
公園管理事業で遊具の点検と更新の状況は、

答 建設水道課長
公園遊具の点検は、毎年、使用前に委託業務で行っています。その都度、補修が必要な部分については対応しています。

問 福山委員
くるみなの木遊館は、オープン以来、当初の交流人口を上回る人数がすでに来館されているため、施設内にある遊具の破損等により更新が必要になってくると思うが対応は、

答 まちづくり推進課長
来館者は、今現在16,000人になっていますが、ご指摘のとおり、遊具が壊れているものもあり、指定管理者で直し、また、新しい遊具を作成し、ご不便をか

けないようにしています。直せない遊具や大きな遊具等については、来年度予算で考えたいと思います。

問 福山委員
原則、飲食は、遊具の衛生面から禁止ということは理解できますが、来場者の声として、奥側の食堂だけでも開放してほしいとの要望もあるが、その対応を伺いたい。

答 まちづくり推進課長
食事面については、確かに要望がありまして、指定管理者とも協議している段階です。特に食べ物等をつかんだ手でそのまま触りますと、遊具等についてりするので、現在は、休憩所で

の食事は遠慮していただいている次第ですが、飲み物については飲むことはできます。食事は、研修室で食べることができるようになっていますので、もう少し様子を見ながら検討したいと思っています。

問 福山委員
防災行政費で防災備蓄品の住民周知についてお聞きしたい。

答 総務課長
各避難所におきまして、ラジオやポータブルストープ、照明器具等について配置しています。年々、災害が増えているような状況もありますので、今後とも、地域の方に周知していきたいと考えております。

問 福山委員
避難場所自体が周知不十分かと思えます。また、消費期限間近になっているような防災品の管理について伺いたい。

答 総務課長
今回の災害におきまして、自主避難場所を改善センター内に設置したところです。毛布あるいは食事としての缶詰



くるみなの木遊館

を配付したところであり、賞味期限も確認していますし、台帳で管理していますので心配ないと思っております。避難については町民の方とともに進めていかなければならない事項ですので、広報等も同じ周知していきたいと考えております。

商 工 費

問 福山委員
鍾乳洞管理事業について、来場者が約2,500人減少となっております。

答 今後を考えると周辺施設も絡めた観光コンシエルジュの配置など、対策を考える必要があると思うが、見解を伺いたい。

答 まちづくり推進課長
振興公社と話し合いを行っており、新年度に何かできるような形があればということで、現在検討しております。



当麻鍾乳洞

土 木 費

福山委員

町産材活用促進事業で、自

分で家を建てる方、中古住宅で、増築や改修に町産材を使いたいという方に対して、対象を拡充する考えはあるのか。

答

建設水道課長

補助は、年度内の着手、完了というのが前提となりますので、自分で家を建てる方については、それが確認できれば可能ではないかと考えます。

町で行っているのは、基本的に構造材、羽目板も一部対象にしていますが、中古住宅の増築が補助の対象になるかどうか、検討をさせていただきたいと思えます。

水道事業会計

澤田委員

水道管の老朽化率、漏水の

量、漏水修繕の件数について伺いたい。

答

建設水道課長

配水管の総延長は約201kmあり、そのうち40年を経過したものは105kmで、率にすると52・2%です。

27年度は7路線の更新工事等を行っており、今後も更新に努めてまいります。

有収率の割合は63%であり、37%が料金をもらえない水になります。

町が管理している給水管部分をも含めた漏水修繕件数は29件です。

問

澤田委員

老朽化の対応をどのようにしていくのか。

答

町 長

上水道管の更新は全国的な問題になっており、国の支援策により、できるだけ早く対応作業に入りたいと思っています。

総括質疑 7会計

問

加藤委員

平成27年・平成28年の蟠龍まつりは当麻山麓で開催されたが、市街地活性化の逆効果になっている等の町民の声があります。

当麻山の麓で蟠龍まつりを開催する理由と、従来通り駅前広場での開催について見直しをする考えはあるのか。

答

町 長

町民で実行委員会を組織されて行くことに、私の判断を示すことにはなりません。

実行委員の皆さんは町民の声を聞いて判断しており、総意で決めたことに対して私が見解することは筋違いだと思います。

問

福山委員

田んぼの学校で収穫されたお米を、保育園児や給食対象外の子どもたちに1食や2食でも渡して、家庭で食べてもらうことも、食育につながると思えますが、町長の見解を伺いたい。

答

町 長

貴重な提案ですので検討してまいります。

問

福山委員

今年度の田植祭は気象条件が悪く、寒かったと思います。子どもたちが個人個人で、長靴などをそろえるには厳しい面があるかと思うが、町として何か考えはあるのか。

答

町 長

今年の低温状況を見ると、かわいそうな感じもいたしました。新年度に向けて、水田靴を用意するかどうか検討しております。

問

福山委員

防災については、実際に地域あるいは町単位での避難訓練などの実施も重要であると考えますが、町長の見解を伺いたい。

答

町 長

きめ細かなハザードマップを作成して、町民の避難対策を講じていかなければなりませんので、これから、その計画をしていきたいと思っております。

問

福山委員

第1回定例会で、幼児教育の学習機会の提供として、公民館ままとまるを幼稚園の生活発表に使用する考えはあるかと質問をしましたが、現在どのような状況か。

答

教育長

幼稚園には、ままとまるの大ホールでの発表を子どもたちに体験させても良いのではないかとお話をいたしておりますので、ご理解願います。

平成28年(8月2日開催)

第4回臨時会

財産の取得について審議しました。
(審議結果は11ページをご覧ください)



取得

財産の取得について

公営住宅駅前第2団地の買取事業で、7月26日に公営住宅とうまグループ(西森建設㈱、石川建設㈱、崎平野組、㈱アイエイ研究所)と1億8,502万800円で仮協定書を締結し、議会の議決後、本協定を締結します。

取得する公営住宅駅前第2団地は、木造2階建て1棟4戸を3棟で、事業期間は平成29年1月31日までです。

議案の採決結果

	福山議員	西川議員	片原議員	善光議員	加藤議員	澤田議員	前田議員	中港議員	山下副議長	成田議長
議案 第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認 第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認 第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意 第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意 第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意 第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定 第1号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
認定 第2号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
認定 第3号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
認定 第4号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
認定 第5号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
認定 第6号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
認定 第7号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
議案 第55号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—
意見案 第1号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	—

○=賛成 X=反対 欠=欠席

ただし、議長は職務上、採決に参加していません。

(議席順)

議案審議の結果

第4回臨時会

事件番号	件名	結果	議決月日
議案第49号	財産の取得について	原案可決	8月2日

第3回定例会

事件番号	件名	結果	議決月日	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	9月12日	
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認		
同意第2号	当麻町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意		
同意第3号	当麻町教育委員会委員の任命について	同意		
同意第4号	功勞表彰について	同意		
議案第50号	当麻町税条例の一部を改正する条例について	原案可決		
議案第51号	当麻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決		
議案第52号	財産の取得について	原案可決		
議案第53号	平成28年度当麻町一般会計補正予算（第4号）	原案可決		
議案第54号	平成28年度当麻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決		
報告第3号	平成27年度当麻町決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について	報告		
認定第1号	平成27年度当麻町一般会計決算認定について	認定		9月16日
認定第2号	平成27年度当麻町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定について			
認定第3号	平成27年度当麻町国民健康保険特別会計（医科診療施設勘定）決算認定について			
認定第4号	平成27年度当麻町後期高齢者医療特別会計決算認定について			
認定第5号	平成27年度当麻町介護保険特別会計決算認定について			
認定第6号	平成27年度当麻町公共下水道事業特別会計決算認定について			
認定第7号	平成27年度当麻町水道事業会計決算認定について 〔決算審査特別委員会付託（7件）〕			
議案第55号	平成28年度当麻町一般会計補正予算（第5号）	原案可決		
意見案第1号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決		
	議員の派遣について	承認		
	閉会中の所管事務調査の申し出について（総務文教常任委員会） （産業福祉常任委員会） （議会運営委員会）	承認		

議会のうごき

8月11日
▼
11月7日

8月	16日	万灯会法要（議長）
	19日	上川中央部市・町議会議長会定例会議（議長▽美瑛町）
	23日	精米施設新設工事起工式 議会広報研修会（議報編集委員・局長▽札幌市）
	26日	上川中央部町議会議事務局長・担当者会議（局長・係長▽旭川市）
	29日	総務文教常任委員会 産業福祉常任委員会
	30日	当麻町力ントリーエレベーター利用協議会定期総会並びにカントリー操業安全祈願祭（議長）
	31日	カントリーエレベーター稼働20周年祝賀会（議長）
9月	4日	上川町村議会議長会議

6日	（議長▽旭川市） 議会運営委員会
10日	忠魂祭典
12日	第3回定例会
12日	決算審査特別委員会 全員協議会
13日	決算審査特別委員会
15日	全町敬老会
16日	全員協議会 議会報編集特別委員会 大雨被災状況視察



18日	当麻柏陽園敬老会（議長・産業福祉委員長）	
27日	議会報編集特別委員会	
29日	上川町村議会議事務局長前期研修会（局長▽旭川市）	
10月	2日	第11回とうま新米・新そばまつり
	4日	田んぼの学校収穫祭
	6日	議会報編集特別委員会
	11日	町議会議事務局研究会（局長▽札幌市）
	16日	東京当麻会の集い（議長・加藤議員・西川議員▽東京都）
	20日	第5回臨時会 全員協議会
	20日	上川管内町村議会議議長研修会（議長▽東川町）
	22日	町民植樹祭
	23日	交通安全町民集会
	24日	当麻町議会議員とJA当麻役員との懇談会
	25日	議会報編集特別委員会
	26日	上川管内町村議会議議員研修会（美瑛町）
	31日	産業福祉常任委員会行政視察（和寒町・下川町）



● 編集

議会報編集特別委員会

委員長	山下勝博
副委員長	善光英治
委員	片原康夫
委員	福山寛人

11月	1日	議会報編集特別委員会
	3日	当麻町生涯学習フェスティバル
	4日	功労表彰式並びに祝賀会
	7日	新規担い手就農者を祝う会（正副議長・産業福祉委員長）
		上川管内町村議会議事務局職員研修会

平成28年11月10日

発行 当麻町議会
編集 議会報編集特別委員会